

## 仕様

機種名	ビバサーモ BT300
品名	電子制御式デジタルサーモスタット
用途	屋内 鳥類・小動物 飼育用
定格電圧／周波数	AC100V 50/60Hz
最大容量 (適用ランプ・保温器具)	300Wまで
制御温度範囲	15～40℃(温度設定精度±1℃)
使用可能周囲温度	5～35℃
使用可能周囲湿度	10～85%(結露なき事)
異常感知シグナル	センサー:異常(断線、短絡)、異常温度:設定温度±5℃以上、ヒューズ切れ
製品サイズ	本体(吊り下げフック含まず):W5.6×D2.4×H11.5cm・ 電源コード:約1.2m・センサーコード:約1.4m・保温器具用コンセントコード:約0.2m
付属品	センサーカバー、センサー固定用吸盤、センサー固定用フック、 金属製センサーコードカバー(約40cm/センサーコードに組み込み済み)

## 保証書

- 初期使用時の不動作及び正常な使用状態における故障については、保証期間内、無料交換・修理いたします。  
※本製品の誤った使用、他の器具機器の被害、飼育生体等の補償はいたしかねます。補償対象外となりますので、予めご了承ください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料となります。予めご了承ください。
  - 誤ったご使用や、不注意による故障または損傷、火災、水害、地震等天災による場合。
  - 異常電圧等による故障または損傷、不当な改善や修理による場合。
  - 本保証書に販売店の購入証明(レシート等)及びご購入日の記載がない場合。
  - 本製品を他から譲り受けた場合、中古品の場合、及び本保証書がない場合。
  - 本保証書またはお買い上げ証明(レシート等)の字句を改ざんした場合。
  - 本製品に分解、改造の形跡がみられた場合。
  - 破損状態によっては修理できない場合もあります。
- 本保証書は、日本国内でのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.  
※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。  
※個人間のネットオークションなどの購入は保証対象外です。  
※正常な使用下における欠陥や故障に対してのみ取扱店を通じて製品の無料交換・修理をさせていただきます。飼育生体などのその他の損害については一切責任を負いません。予めご了承ください。

製品名	鳥類・小動物用電子制御式デジタルサーモスタット ビバサーモ BT300	販売店様欄
お買い上げ日	年 月 日 保証期間:お買い上げ日より1カ年	この欄にお買い上げ時の清算レシート等、販売を証明する物を添付してください。
お客様ご氏名		
お客様ご住所		
連絡先		
販売店様へ・・・ この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施を明確にするものです。 必要事項をご確認の上、弊社へご連絡ください。また、店頭で修理しようと試みないでください。 現品状態のまま受け付けてください。分解された形跡がみられる場合は、保証いたしかねます。		販売元 株式会社ビバリア レップカルジャパン 大阪府東大阪市西石切町5-2-17

No.1

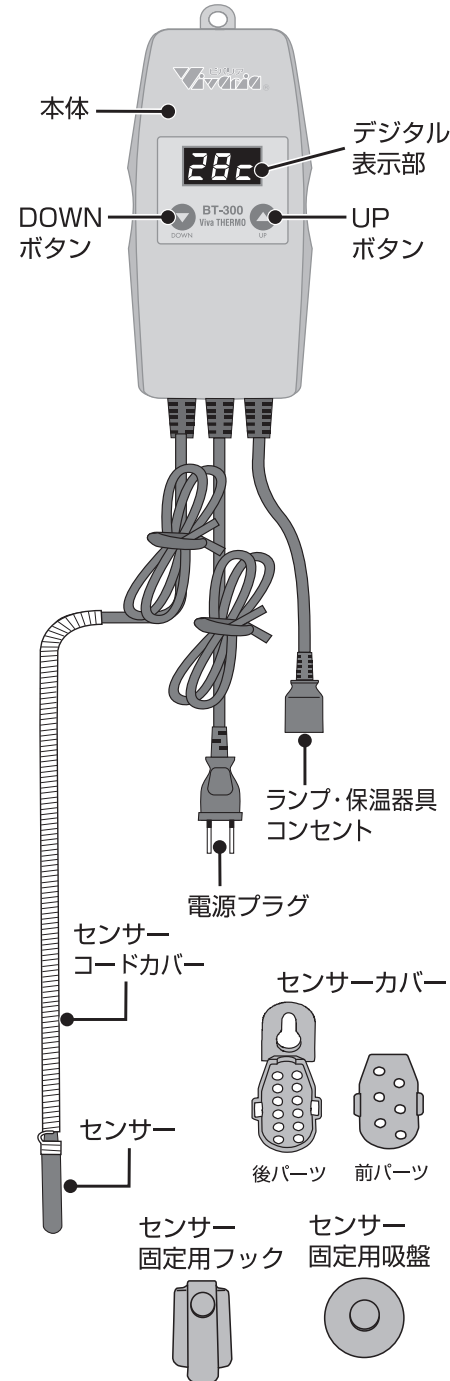
鳥類・小動物用電子制御式デジタルサーモスタット

# ビバサーモ BT300

**取扱  
説明書  
保証書付属**

この度は弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しく安全にご使用ください。  
なお、この取扱説明書には保証書の欄がございます。お買い上げ精算時のレシートと共に大切に保管してください。

## 各部の説明



## 【安全にお使いいただくために必ずお守りください】

**⚠ 警告** 誤った取扱いによって、重大な事故の可能性があるもの

**⚠ 注意** 誤った取扱いによって軽傷や器具の損害・損傷になるもの

■以下のマークで取扱い上の説明をしています。

**⊘** してはいけない **❗** 必ず実行する

**⚠ 警告** **⊘**

- ペット飼育以外での使用や他の目的での使用はしない。
- いかなる場合も分解・改造しない。
- 多湿になる場所や屋外では使用しない。
- 電源プラグ、コンセントは濡らさない。
- 濡れた手で触らない。
- タコ足配線しない。
- コードを“曲げる”“引っ張る”“束ねる”“重量物を載せる”の行為をしない。

**⚠ 警告** **❗**

- 電源プラグを抜く時は、コードを持たずに電源プラグを持って抜く。
- 必ず、AC100Vの電源を使用する。
- 必ず、本体はケージや飼育容器の外に設置する。

**⚠ 注意** **⊘**

- 強い衝撃を与えたり、高いところから落とすなどしない。
- 本製品には鳥・小動物などのペット用のランプ・保温器具以外つながらない。観賞魚用ヒーターをつながらない。
- センサーを設置した飼育ケージのみで使用し、複数の飼育ケージで使用しない。
- センサーを床材に埋めない。
- センサーを水中に設置しない。

**⚠ 注意** **❗**

- お様が設置や操作をするときは大人の監視のもとで行う。
- センサーを噛むおそれのある生体での使用は、センサーを噛まれない位置に設置するなどし、十分に注意する。
- センサーやコードは、ランプ・保温器具に触れないように設置する。
- センサーやコードに劣化(ヒビ割れなど)が発生した場合、使用を中止する。

**本製品の使用にはペット用のランプ・保温器具が必要です。**

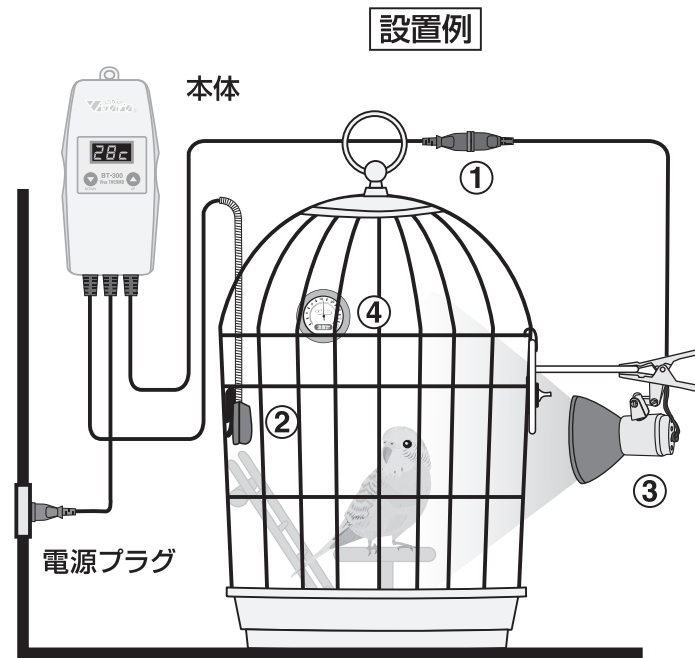
## ■取扱方法【設置方法】

※本製品は、ランプ・保温器具のご使用による飼育ケージ内温度の過剰上昇を防止するために、ランプ・保温器具電源の入切をおこなうものです。  
**温度を上げたり下げたり、コントロールする働きはありません。**

※本製品のご使用には、別売のランプ・保温器具が必要です。

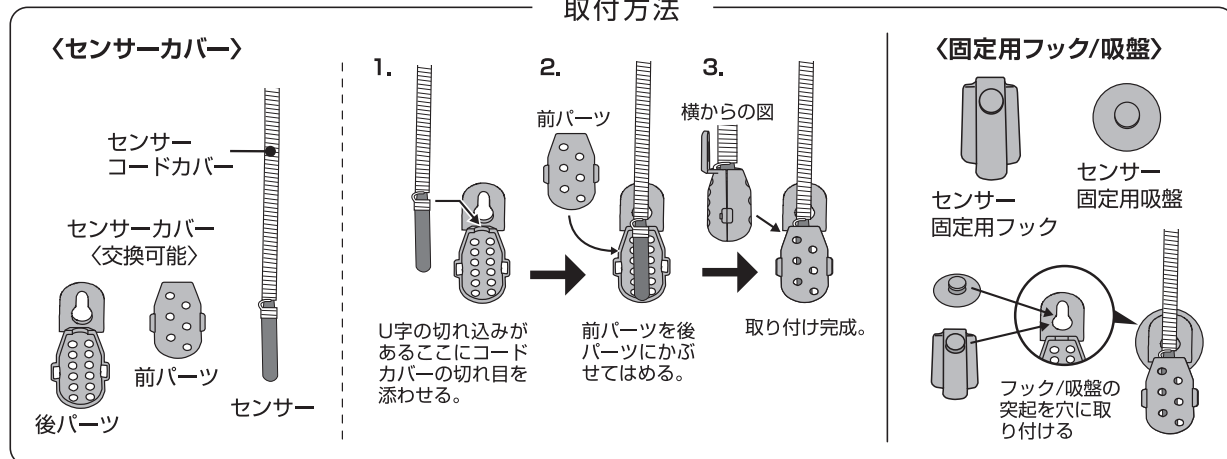
飼育生体やご使用の飼育容器にあわせて、別売のランプ・保温器具や吊り下げ用フック等をご準備下さい。

- ① 本体を飼育容器の近くの壁等に、市販のフック等を使い設置します。直射日光のあたらない風通しの良い場所に設置してください。（“設置例”参照）
- ② センサーカバーを取り付けたセンサーを、飼育容器に吸盤またはフックを使い、温度測定したい場所に取り付けます。ランプ・保温器具の熱が直接あたらず生体が接触しにくい場所に取り付けてください。（“センサー取付例”参照）
- ③ 準備したランプ・保温器具（別売）を、飼育容器に設置します。
- ④ ランプ・保温器具（別売）の電源プラグを、本製品のランプ・保温器具コンセントに接続します。
- ⑤ 本製品の電源プラグを、ご家庭のコンセント（100V）に差し込みます。
- ⑥ 次に温度設定をします。



- “設置例”はイメージです。飼育している生体や使用器具、設置場所、飼育環境等によって、ご使用方法が異なる場合があります。
- ① ヒーター用コンセント
  - ② センサー
  - ③ ランプ・保温器具（別売）
  - ④ 温度計（別売）

### 取付方法

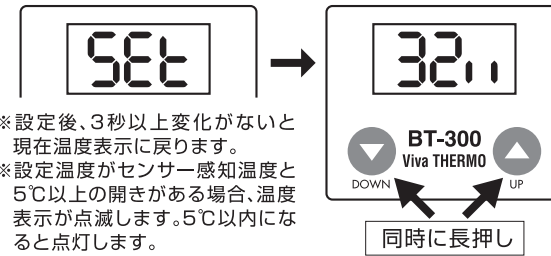


## ■温度設定方法

① 家庭用コンセントにつなぐと通電し、デジタル表示部に製造型番が点灯した後、現在温度表示になります。



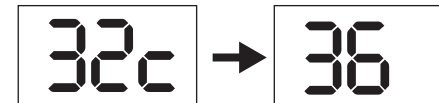
② UPボタンとDOWNボタンを同時に長押し（3秒以上）すると、「SET」が表示され設定温度が表示されます。（設定温度の後ろに「c」表示が出来ます。）  
 「c」が表示されている間に、UP（高く）・DOWN（低く）ボタンを押し、温度設定ができます。



※設定後、3秒以上変化がないと現在温度表示に戻ります。  
 ※設定温度がセンサー感知温度と5℃以上の開きがある場合、温度表示が点滅します。5℃以内になると点灯します。

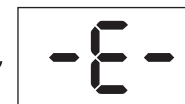
## ■温度コントロールと表示

- 設定温度以下で保温器具へ通電し、設定温度以上で保温器具への通電を停止します。
- 通電中は温度表示の後ろに「c」が表示され、通電が止まると消えます。



## ■異常感知シグナルについて

- センサー異常が発生した場合  
 ⇒ 「-E-」を表示し通電をストップします
- 設定温度より5℃以上高くなった場合  
 ⇒ 温度表示が点滅します。（保温器具への通電はストップしています。）
- 設定温度より5℃以上低くなった場合  
 ⇒ 温度表示が点滅します。（保温器具へ通電しています。）



異常状態		表示	通電
センサー異常	センサー断線	-E-	止
	センサー短絡	-E-	止
温度異常	高温 (設定温度+5℃以上で)	温度表示点滅	止
	低温 (設定温度-5℃以上で)	温度表示点滅	通電

## ■⚠メンテナンス上、保管上のご注意

本製品への破損を防ぐために必ずお守りください。

- お手入れには、必ず、電源を抜き、よく絞った布で汚れを拭き取ってください。
- お手入れには、シンナー、ベンジンまたはアルコール並びに有機溶剤を含むガラスクリーナーなどは使用しないでください。表面が溶けたり変形、変質する恐れがあります。汚れをとる場合は、ぬるま湯を浸した布を固く絞ってふき取ってください。
- 保管は、汚れ等を取り除き、湿気の少ない冷暗所にお保管してください。

## ■⚠ご使用上のご注意

飼育生体や本製品へのダメージ回避のために必ずお守りください。

- 本製品のご使用には、鳥類、小動物飼育用の保温・照明器具等（別売）が必要です。
- 本製品は、ランプ・保温器具のご使用による飼育ケージ内温度の過剰上昇を防止するために、ランプ・保温器具電源の入切をおこなうものです。温度を上げたり下げたり、コントロールする働きはありません。

## ■故障かな?と思ったら

症状	点検・処置
デジタル表示されない	・差し込みプラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？
温度表示の「c」がちらつく。	・故障ではありません。問題ありませんので、安心してご使用ください。
ケージ内の温度が設定温度より高い。	・室内（環境）温度が設定温度より高くありませんか？ ・センサーは飼育ケージ内の適切な位置に設置されていますか？ センサー位置により測定温度は大きく異なります。 ・飼育環境にあった容量の保温器具を使用していますか？
ケージ内の温度が設定温度より低い。	・保温器具は正しく動作していますか？ ・室内（環境）温度が低すぎませんか？ ・センサーは飼育ケージ内の適切な位置に設置されていますか？ センサー位置により測定温度は大きく異なります。 ・飼育環境にあった容量の保温器具を使用していますか？